

南町一丁目だより

発行日 平成21年12月15日
発行者 南町一丁目自治会
編集者 広報編集委員会
電話 221-2728(谷中)

第12号

自治会長挨拶

去る10月10日(土)、11日(日)の両日に亘り開催した南町一丁目祭りも、皆様のご協力を頂き盛大に行うことができ、厚く感謝申し上げます。今年は特に、開催直前の9日(金)に大型台風18号の襲来予報等があり、お祭りの準備はしたけれど、被害の未然防止のため、役員総出で撤去を行う事態となりました。“幸い”被害を受けることなくお祭りの当日を迎え、早朝、再度準備のやり直し等ありましたが、無事終了することが出来、重ねて厚くお礼を申し上げます。

本年は前橋市より、南部六町(南一、二、三、四、六供、六供生川)が、平成21年度地域作りモデル地区指定を受けました。六町の共通事業として、初年度は健康作り部会(各町の体育委員)と福祉部会(各町の民生委員)を組織化し、活動が始まりましたのでご紹介すると共に参加協力をお願いいたします。

今年も上半期が過ぎましたが、自治会やそれぞれの組織活動を計画通り行うことが出来ました。
今後とも御協力をお願い申し上げます。

(自治会長 田島 健司)



南町一丁目祭りを終えて

「テケテン・テケテン・テンツクテン」と子供たちの掛け声と元気なお囃子練習を見ると、南町一丁目祭りの季節が来たなあと実感します。各種団体の事前準備からすでに始まっていますが、お囃子練習のご指導に当たられたご父兄の方々、当日の二日間、各模擬店に携わっていただいた各種団体の皆様方、毎年のことではありますが、大変お疲れ様でした。今年は大型台風そしてインフルエンザ感染症と、南町一丁目祭り開催にあたり心配が予想されました。しかし、子供たちの元気な姿勢、各種団体の方々の熱い思いが伝わり、無事に南町一丁目祭りが運営できましたことをこの場をお借りして感謝申し上げます。

南町の山車、そしてさんてこ囃子は、町内によき伝統・気持ちが引き継がれ現在に至っています。毎年、この二日間のお祭りに参加していますが、準備・お囃子練習・運営・撤収などに町内が団結し、各ご家庭でも良き思い出となっていること思います。

今後も各種行事を通して、町内の繁栄と子供たちの健全育成を目的とし、各種団体・各ご家庭のご協力をお願いいたします。

(南町一丁目祭り実行委員長／成年会会長 羽鳥 和也)

南町一丁目祭り雑感

9月に入りますと、例年通り、太鼓の練習の音が聞こえ始め、「ああ、今年もそろそろお祭りの時期になる」と、町内の人達に、前橋祭り参加行事でもあります南町一丁目祭りが、身近なものになります。本年の祭りは、10月10日～11日に、町内の皆様のご寄付を頂き、関係者の御尽力により、山車の運行・模擬店出店と、賑々しく且つ楽しく行われました。

本年は、台風の当たり年らしく、祭り当日あたりに、大型台風が本土に上陸し、群馬県を通過するとの予報がだされました。既に数日前にテントを組み立て、準備をしていましたが、話し合いの末、シートを降ろし台風に備えました。昨今、地球温暖化の影響か以前よりも、突風・竜巻などによりテントを飛ばされるなどのニュースが、よく聞かれるようになりました。地域のイベントでも、気象の急変などへの危機管理を考慮しておく必要があるのだろうなと感じました。

私は、元号が平成となるのと同時期に、南町の住人とさせて頂きましたが、その時は、二人の子供が小学生でしたので、育成会を通じての祭りの参加でしたが、その後は遠くで山車の運行を見るのみでした。本年になり、自治会の組長ということで、自治会としてお祭りに関係しました。この20年間で駅の南口が整備されたり、平成大橋が完成したり、スーパーが出来たり、大きく変貌しましたが、お祭りは今年も例年のように開催され、子供たちにとって「ふるさと」として記憶に残るのではないでしょうか。

(3組組長 内田 勝)

前橋まつりに参加して

今年の前橋まつり、「南町一丁目まつり」は、2日間ともよいお天気に恵まれ、なごやかな雰囲気の中、無事終了でき何よりでした。

私は、昨年同様本部のお手伝いをさせていただきました。地元ということで一中の校長先生も開会式に顔をだして下さり、町内行事のすばらしさとなつかしさを話しておられました。式が終わり、山車の出発とともにテントの中は、女性3人だけになってしましました。晴天にさそわれ、町内パレードに皆さん出掛けられました。昨年に比べ、本部のテントを訪れるお客様が少なかつたように思いました。昼ごろには、いつもサロンにみえている方々や普段なかなか顔を合わす機会のない方々が抽選会に訪れ本部前でお話することができとても楽しかったです。時間のある方には、テントの中でお茶でもお入れしてお話ができる場を作れたらよかったですかなとも思いました。お茶の道具は用意して下さってあったのに、気がつくのが2日目になってしまい、気がきかない接待係になってしまったことは申し訳なかったと反省しております。

小さな子供から年齢を重ねられた人までの笑顔が集うお祭りっていいなって思いました。

(児童民生委員 庭野 初代)

お祭り初参加

「行きたくない」

音の出ない横笛に挫けた息子は、今度は太鼓の練習を最初から拒否。練習初日が当番だった私は、出掛ける前の慌しさと嫌がる息子と幼い弟を連れて行くのに必死。

ところが、練習が始まれば、初めて聴くお囃子に合わせて撥を振り上げ、なかなかいい調子。これならいいける！と思っていたのも束の間、次回からの練習参加も断固拒否。

しかし、ご近所の女の子達やお母様方に集会所まで連れて行ってもらい、練習中は友達に助けられ、励まされ、結局習い事がある日以外はすべての練習日に参加。

そして、祭り当日、法被姿に化粧をして、すこし緊張した息子の掛け声と大太鼓でだしが動き出した時は、感無量。くるりと撥をまわす技はお見事。

「来年のお祭りはさあ」

祭りが終わった後に話す息子は、ひとまわり成長し、自信に満ちたいい顔。日頃、あれこれ口うるさく叱っている私も、この日ばかりは小休止。

最後に、縁あってこの町に住むことになりこのような貴重な経験が出来ることに、町内の方々に親子共々育てていただいていることに、そして息子の友達の優しさに、感謝。

(育成会 中村美智子)

南町一丁目祭り

今年は、台風にインフルエンザと心配事の多い中での南町一丁目祭りでしたが、無事行うことができました。

我が子も、このお祭りを楽しみに学校の宿題を早く終わらせ、毎日練習に行きました。そして、今年は下の子も太鼓デビューすることができました。私も時々顔を出しましたが、上級生の子どもが下級生の子ども達の太鼓を教えたり、初めての子どもにはやさしくアドバイスしたりと何ともほほえましい姿を幾度となく見ることができました。また、お祭りの本番でも仲良く楽しむ子ども達の姿を見ることができました。親としては、準備や模擬店など大変なこともありますが、お祭りを通して子供の成長を感じることができ、嬉しく思っています。

たくさんの方々のご協力で、こうして参加させて頂けることに感謝の気持ちでいっぱいです。ご近所の皆様にも、色々とご協力頂き、ありがとうございました。

(育成会　曳町 和子)



楽しかった前橋祭り

ぼくは、初めてだしに乗って太こをたたきました。れん習は、半分も出れなかつたので、うまくできるかきんちょうしたけど、みんなで楽しくできた事が一番うれしかつたです。

町では、色んな町内のおはやしが聞けたり、友だちと出店に行って色々な物を、見たり食べたりした事も楽しかつたです。

来年は、大どもたたけるようになりたいです。

(3年 今井 拓人)

まえばしまつり

わたしは、ねんしょから、だしをひっぱっています。どんどん大きくなつたら、まちまで、いっぱいひっぱれるようになりました。だしは、みちをまがるときむずかしいです。びっくりしたことは、だしのやねの上に男の人が、のつたからです。おちないかなとおもついたら、おちなかつたので、ほつとしました。

おはやしをみんなじょうずにできていました。一ねんせいは、まだ、できないので、ちょっとがっかりでした。わたしも大きくなつたら、じょうずにうちたいです。

(1ねん 川田 あかね)

最後の前橋祭り

「ああ、とうとう終わっちゃつた。」

お祭り広場で金古さんが、最後に六年生を紹介してくれているとき、私は少しさびしくなりました。六年間参加してきた私の前橋祭りは終わりました。

一年生、初めて見た山車。大きい五、六年生が太鼓をたたいているのを見て、私もあんなふうにたたいてみたいと思いました。

二年生、山車をひいてひたすら歩くだけ。足が痛くなりました。山車に乗れる上級生がうらやましく思いました。

三年生、初めての山車。やっとたたける。動く山車はとてもおもしろかったです。

四年生、五、六年生がマーチングでぬけたぶん、たくさんたたくことができました。

五年生、下級生に鉦のたたき方を教えてあげたりして、上級生の自覚をもつた年でした。

六年生、マーチングとのかけもちで大変でした。ハッピの上からたすきをかけてもらって気がひきしました。自信を持ってたたくことができました。さすが六年生という演奏ができていたでしょうか？

六年間を通して、前橋祭りは私にとって楽しい思い出となりました。来年からは、もうないとさびしいです。「テケテン、テケテン、テケツクテン」このさんてこのリズムはずつと忘ることはないでしょう。六年間ありがとうございました。 (6年 手塚 薫)

自分とお祭り

長女が小学生に上がる時に「南町一丁目のお祭りは楽しいですよ」と誘われ育成会に入り、今年でお祭りに参加するのも8回目となりました。

この数年、私にとってのお祭りは二日間だけではなく、お祭りの準備から片付け、反省会まで1ヶ月半位がお祭り気分です。

担当することは少ないんですけど、寄付金のお願いから始まり、お祭り一週間前には廃品回収と同時に行うお祭りの準備で、刑務所からお借りするテーブル・イスの運搬、山車の飾り付け等、お祭り広場のテント張り等です。お祭り当日になると、町内パレードまでの間は焼きそばの手伝いです。キャベツと肉を炒めて麺を混ぜながら水・ソースの分量を調整し一度に30パック程の量を何回か焼きました。(味はどうだったでしょうか)

次は、お祭りのメインである山車の町内と前橋祭りのパレードです。担当は、山車を引く綱の先頭でコースの案内と山車のコースを先に走り交差点や狭い道の前・横から来る車を止め山車を安全に通過させることです。(「先に走り、通過を見送り、また前に走る」の繰り返し)

町内パレードの感想として、最近は沿道に出てくださる方々も少なくなった気がしています。それでも、家の前で山車が通るのを待って下さる方や、お囃子(太鼓・笛の音)を聞いて家の窓から手を振って下さる方もいて少し嬉しい気持ちになりました。

2日目夕方の町内パレードでお祭りは終わりですが、終了後は出来る限りの片付けを済ませて、翌日も朝集合でテントをたたみ、テーブル・イスを刑務所に返し、太鼓・小物等を山車の上に乗せて山車小屋に納めてようやく解散。

あとは一週間後の反省会(自分にとっては感謝祭)です。この反省会には祭典委員会、自治会、育成会等の役員を始め大勢の方が集まり楽しく過ごせました。

自分のことよりも育成会役員のお母さん達は、お祭りの準備から片づけまで何でこんなに頑張れるのかと感謝の気持ちで一杯です。(本当にお疲れ様でした)

また来年のお祭りも楽しみにしています。

(育成会 野口 政治)



感謝をこめて

直前に台風が来て気をもみましたが、お祭り当日 2 日間は気持ちのよい秋空のもと、無事終了することができました。毎年のことながらお祭りに関わる多くの方々のご協力、本当にありがとうございました。

私は昨年までもお祭りに参加し、お手伝いもしてきましたが、今年は育成会長（祭典副委員長）という立場で関わらせていただき、今までとは違う、たぶん一生の宝物となるような（少々オーバー、でもホント）経験をさせていただきました。

夏には子ども達は笛の練習が始まりました。うちの息子も半ば強制的に練習に参加、なかなかよい音を出せず挫折しかけましたが、最後は本人も納得のいく演奏ができた様子。暑い中、根気強いご指導ありがとうございました。太鼓の練習は例年より回数が少なく、仕上がりが心配されましたが、成年会のみなさんの熱心なご指導と子ども達の頑張りで立派なお囃子を奏でることができました。

既に四半世紀以上の歴史ある南町一丁目祭りですが（今年で何回目かご存じの方、教えてください）、年を重ねながら様々な工夫が凝らされています。育成会担当の焼きそば、焼きまんじゅう、けんちん汁なども例年の取り組みをふまえて、材料の準備や焼き方に様々なこだわりがあり、お母さん達の知恵と愛情がつまった品々なのです。

パレードでは、子ども達の安全確保を成年会、育成会のお父さん達にお世話になりました。大きな山車を引きながら、狭い道を曲がるのは至難の業。ベテランの方々の体を張った操作、かけ声なしにはうまくいきません。今年は刑務所の若い職員の方々が来てくださいり、心強い助っ人でした。

子ども達にとって楽しい 2 日間が終了した翌日、また多くの方々が片づけに参加してくださいました。準備から片づけまで、長期間にわたる祭りの取り組みに、南町一丁目のパワーと子ども達への愛情を感じました。私に一生の宝物を授けてくれた南町一丁目祭り、祭りに関わる全てのみなさまに心より感謝申し上げます。

（育成会長 田口 有理）

南町一丁目祭り（前橋祭り協賛）写真展

12月20日（日）、餅つき大会の会場（第一集会所）に、お祭り関連の写真を展示します。どんな写真が出てくるのやら・・・楽しみです。たくさんの方のお出でをお待ちしています。なお、出品はまだ受け付けています。応募される方は、19日（土）までに、集会所までお持ち寄り下さい。

行事計画（平成21年12月～22年3月）

	行 事 等	関 係 団 体
12月	上毛かるた練習（9～21日） 南一いきいきサロン（10日） 「南町一丁目だより」第12号発行（15日） 廃品回収（20日） 餅つき大会（20日） 生け花講習会（生涯学習）（28日）	育成会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 編集委員 育成会 成年会、寿会、育成会 生涯学習奨励員
1月	上毛かるた練習（7～14日） 南一いきいきサロン（10日） 桃井地区上毛かるた大会（17日）	育成会 児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会、体育推進委員
2月	南一いきいきサロン（10日） 廃品回収（15日） 味噌造り講習会（生涯学習）（中旬）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 育成会 生涯学習奨励員
3月	南一いきいきサロン（10日） 桃井地区グラウンドゴルフ大会（28日） 長寿会日帰り研修視察（中旬）	児童民生委員、保健推進委員、寿会 体育推進委員、南一グラウンドゴルフクラブ、育成会 寿会

グラウンドゴルフクラブに入会して

定年退職後は運動不足になるとを考え、自宅から南町グラウンドへ行きグラウンドの周辺を何回か廻って帰るコースを歩いていました。南町グラウンドでは、地域の人たちがグラウンドゴルフやゲートボールを楽しんでいるのをよく見かけておりました。一緒にやりませんかとのお誘いも受けましたが、ルールも用具の使い方も知らないので、ちゅうちょしていました。あるとき前に勤めていた会社のOB会でグラウンドゴルフの大会をするから、参加するように言われ、しぶしぶ出かけて皆さんに教えて貰いながらやってみたところ、私のような運動神経の鈍い者でも楽しくできそうなゲームと感じ、寿会に入会と同時にグラウンドゴルフクラブに入会させて貰いました。私より十歳以上歳上の先輩の皆さんが、上手に球を寄せているのに驚きました。このゲームは力が必要でもなく走る必要もなく、歩けるうちは何歳になってもできるように思えます。年金と共に行動範囲が狭くなり、楽しみも少なくなると考えるとき、町内の皆さんと、面白く笑いながら半日が過ごせるので、最近では次の練習日が楽しみになるようになりました。これからもみなさんのお世話になりながら楽しませていただこうと思います。よろしくお願ひいたします。

(藤井 久隆)

寿会秋季研修旅行

私共、寿会の秋季研修旅行は9月25日、小江戸といわれる蔵の街、栃木市に行ってまいりました。

これに先きだち7月29日、今井副会長と下見聞として当地を訪れてみました。二人とも栃木市は初めてなので、先ず栃木市観光課を訪ねて、蔵の街としての由緒ある伝統と風情のある予備知識を案内して頂きました。山車会館、記念博物館、

巴波（うすま）川舟遊びなど、滞在時間さえ許されれば他にも歴史的な建物など沢山あるとのことと伺いました。何故、栃木市には本格的な蔵があるのか、川幅20m程の川に舟があるのか、市職員の説明によりますと、昔、栃木市は下野の國では中心の産業物産の地であり、それを集荷する蔵のこと、そして巴波川はそれらを江戸まで舟を使って運んだとのこと、理解を深めました。

さて、旅行当日は朝から晴天に恵まれ、途中二回ほど小休止をとり栃木市に向かいました。昼食は巴波川河畔の和食処としました。格子窓を開けるときれいな水面に揺れる梅花藻（きんぎよぐさ）、時折小魚を探る白鷺、対岸の蔵並の街など、参加された皆様も久しぶりになごやかな風景に心を癒されたことと思います。食事後、歴史記念館、また舟遊び、高級スイーツ店に立寄り、帰路、大平山麓のブドウ園にて小休止、予約済みのブドウをお土産として各自持ち帰って頂きました。

9月のサロンの折、今井さんの撮影したビデオで当地の紹介。そして、11月のサロンにて、当日撮ってもらったビデオを見せて頂きました。皆さん本当に元気で笑顔で、日帰り旅行とはいえ、こんなに喜んでおられるんだなと感謝の気持ちでいっぱいです。

なお、寿会は、今は日帰り旅行が通例ですが、皆様のご希望があれば一泊旅行も企画致します。15名様以上の参加者があれば現地から送迎のバスが参ります。夕餉の折の懇親会はきっと後日の良き思い出となります。また、時間的な余裕もでき、お話を盛り上がることうけあいです。ただ、ご負担はそれなりだと思いますが、よろしくご検討願えれば幸思います。

（寿会会長 山崎 一郎）



敬老祝賀会、盛大に

町内の敬老祝賀会が、9月26日、約50人の参加のもと第一集会所で開催されました。南町一丁目では、75歳以上の方が103人（内90歳以上の方19人、80歳代の方48人）で、町内の最高齢は男性99歳、女性96歳です。

祝賀会では、自治会長より「これからもご健在であり、皆さんのますますのご活躍と長寿を心からお祈り申し上げます。本日はおめでとうございます」とお祝いのあいさつがありました。そして敬老者を代表して、寿会会长の山崎さんから「本日はこのような会を開催していただき、ありがとうございます。これからも元気で、町内の諸行事に参加協力してゆきたいと思いますのでよろしくお願いします」と謝辞の言葉をいただきました。

式典後、参加者はお弁当を食べながらの歓談やbingoゲームなどで、楽しいひと時を過ごしました。また、子供たちによる合唱や、育成会・成年会の皆さんによるケンチン汁のもてなしに終始ご満悦の様子でした。

（生涯学習奨励員 福島 勝男）



編集後記

お忙しい中、たくさんの方から原稿をお寄せいただき、ありがとうございました。おかげさまで、「南町一丁目だより」12号を予定通り発行することができました。感謝！感謝！です。

（編集委員／生涯学習奨励員 福島 勝男）

新型に加えて季節型も重なり、インフルエンザが猛威をふるっています。予防をこころがけましょう。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~yanaka/3731/>

（編集委員 谷中 勝）